

2013 年 3 月 19 日

ウェザーニューズ、「第一回花粉症調査」結果発表

今シーズン、花粉症の 8 割以上が大量飛散時と同じまたはより辛い症状と判明

- ・ 最も“症状が重い”のは神奈川県民、関東～中国四国では半数以上の方が症状の重さを実感
- ・ 今シーズン、花粉症の 2 人に 1 人が対策を強化！
一番しっかり対策したのは長崎県民で、最もしなかった秋田県民の約 3 倍
- ・ ここ数年で最も警戒！？“対策していない”が大量飛散時よりも 2 割減
- ・ 花粉症の約 6 割が 2 月下旬までに症状発生、昨年よりも早い結果に
- ・ 花粉症の症状、“鼻水”“くしゃみ”を訴える人が多く、“目のかゆみ”は緩和した傾向に
- ・ 対策方法、今シーズンは“目”への対策を強化？ 一番人気は不動の“マスク”

株式会社ウェザーニューズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：草開千仁）は、全国各地で本格花粉シーズンに突入し、飛散が増した 3 月上旬～中旬に花粉症に関する調査を実施しました。今シーズンの花粉飛散量は、全国で昨シーズンの 7 割増、関東や東北の多いところでは 3 倍と予想されています。本調査は、シーズン前半の全国の方の症状や対策状況を調べることで、今後の対策に活かし、花粉シーズンを少しでも楽に過ごしていただくことを目的としています。今回発表する「第一回花粉調査」の結果は、スマートフォンアプリ「ウェザーニューズタッチ」及び携帯サイト「ウェザーニューズ」の利用者を対象に 3 月 8 日（金）～12 日（火）で調査を実施し、合計 42,168 人（男性 53%、女性 47%）の有効回答をまとめたものです。

◆今年花粉症、8 割以上がここ数年以上の症状の辛さを実感

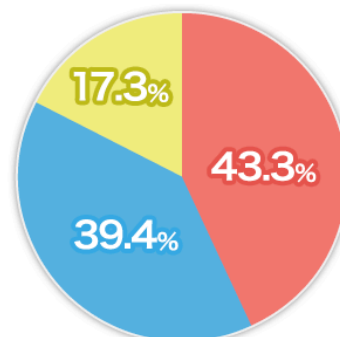
～ここ数年と比べて“症状は重い”の割合、大量飛散となった 2011 年と同等レベルに～

各地で本格花粉シーズンに突入し始めた 3 月上旬～中旬にかけて、全国の花分症の方の症状を調査するため、「ここ数年の症状と比べてどうですか？」との質問をしました。その結果、“症状は重い”は 43.3%、“同じくらいの症状”は 39.4%、“症状は軽い”は 17.3%となりました。“症状は重い”と“同じくらいの症状”を合わせると 82.7%になり、対策を見ると、花粉症の半数以上の方が“いつも以上にしっかり”対策を行っているにも関わらず、約 8 割の方がすでにここ数年以上の症状の重さを感じている傾向にあることが分かりました。

また、花粉が大量飛散した 2011 年と比較すると、2011

年の同時期に同じ質問をした際は、“症状は重い”が 43.2%、“同じくらいの症状”は 48.7%、“症状は軽い”は 8.1%となりました。“症状が軽い”と感じている人は今シーズンの方が多量のものの、“症状が

あなたの症状は、
ここ数年と比べてどうですか？



■ 症状は重い ■ 同じくらいの症状
■ 症状は軽い

重い”と感じている割合は同程度になったことから、今年の花粉シーズンはかなり辛い傾向にあるようです。

さらに、“症状は重い”の割合を都道府県別に見たところ、その割合が最も多かったのは神奈川県で53.4%、2位が徳島県で51.9%、3位が愛知県で51.5%、4位が千葉県で50.8%、5位が和歌山県で50.6%になりました。花粉飛散量が昨年以上となった関東～中国・四国では半数以上の方が症状の重さを感じており、花粉シーズンに突入する時期が遅かった東北エリアは、全体的に下位という結果になりました。

※都道府県別ランキングは参考資料にてご確認ください

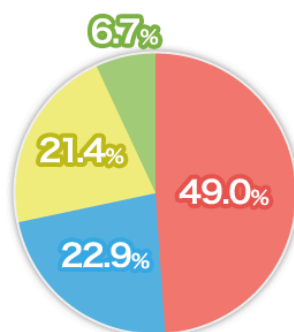
◆花粉飛散量増加の予想に、花粉症の2人に1人が対策を強化！

全国的に花粉飛散量が昨年比7割増と予想されている今シーズン、全国の方の対策状況に変化があるか調査するため、「事前対策にはどれくらい力をいれていますか？」と質問した結果、“いつも以上にしっかり”が49.0%、“いつも通りしている”が22.9%、“いつも以上にしていない”と“していない”がそれぞれ21.4%、6.7%となりました。今年はシーズン前から、各メディアで「花粉は昨年の7割増」と報じていたため、より対策に力が入ったのかもしれません。

“いつも以上にしっかり”対策をしたという回答を都道府県別に見ていくと、対策に最も力を入れたのは長崎県で35.0%でした。続いて、2位が徳島県で32.0%、3位が新潟県で31.7%、4位が香川県で31.5%、5位が鳥取県で31.3%でした。上位11位中、8県が九州、中国四国地方となり、対策を強化した人が多い傾向にあることが分かりました。

※都道府県別ランキングは参考資料にてご確認ください

事前対策には
どれくらい力をいれていますか？



■いつも以上にしっかり ■いつも通りしている
■いつも以上にしていない ■していない

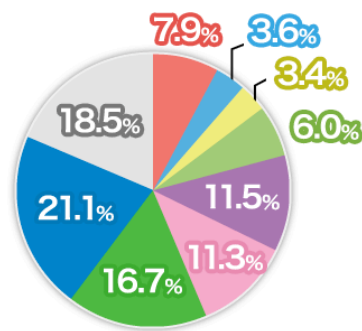
◆ここ数年で最も警戒！？“対策していない”が大量飛散時よりも2割減の結果に～花粉症対策は、飛散開始前からの対策がカギ～

全国の方の対策時期を調べるため、「今シーズンは対策をいつからしていますか？」との質問をしました結果、“対策はしていない”が18.5%となりました。過去の回答と比較すると、花粉が大量飛散した2011年は23.9%、昨シーズンは40.8%が対策をとっていなかったことから、今シーズンはここ数年で最も多くの方が対策に取り組み、ここ数年で一番の警戒態勢で花粉シーズンに臨んでいることが分かりました。

最も多いのは“3月上旬から”で21.1%、続いて“2月下旬から”は16.7%、“2月上旬”は11.5%、“2月中旬”は11.3%と、対策を始めたタイミングは2月上旬から一気に回答数が増えています。これは、症状が出始めたタイミン

グとほぼ同じです。より効果的に対策をするなら、症状が出る前に対策を始める必要があるため、対策

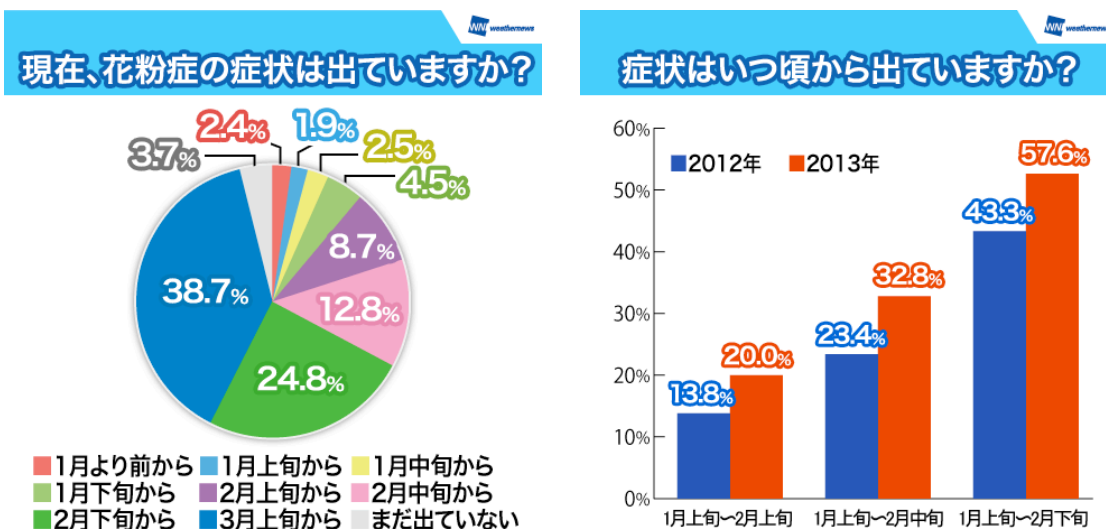
花粉症対策は
いつ頃からしていますか？



■1月より前 ■1月上旬から ■1月中旬から
■1月下旬から ■2月上旬から ■2月中旬から
■2月下旬から ■3月上旬から ■対策はしていない

はタイミングとしては遅かったということが分かります。タイミングが遅れた理由としては、今年の冬は特に寒く、また長かったことが考えられます。このため、なかなか花粉対策モードへのスイッチが入らず、また、暖くなったのは急だったため、いきなり花粉シーズンに入り、対策が後手に回ってしまったのではないかと考えられます。

◆花粉症の約6割が2月下旬までに症状発生、昨年よりも早い結果に

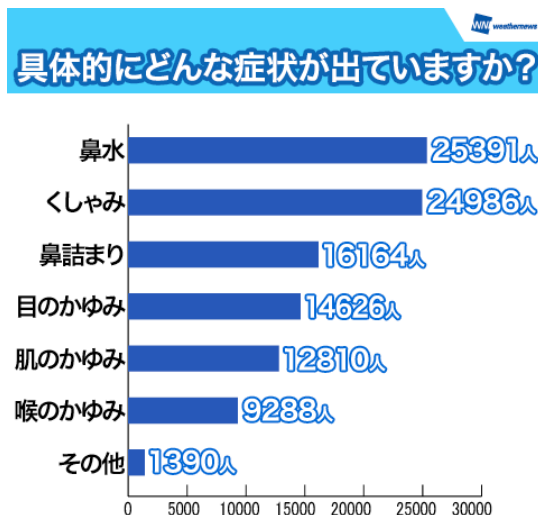


今シーズンの症状が出始めた時期を調査するため、「現在、花粉症の症状は出ていますか？」との質問をしました。その結果、“3月の上旬から”が38.7%で最も多く、続いて“2月下旬から”が24.8%、“2月中旬から”が12.8%、“2月上旬から”が8.7%でした。昨シーズンの発症時期と比較するため、各時期での積算値を見ると、2月上旬までに症状が出始めた人の割合（“1月より前から”～“2月上旬から”の合計）は20.0%、同様に2月中旬には32.8%、そして2月下旬には半数以上の57.6%となりました。2月下旬までに症状が出た人の割合は、昨シーズンの43.3%と比べて14%上回る結果となり、昨シーズンよりも早い時期に症状が出ていることが分かりました。

天気を注目すると、2月上旬に冬の寒さから一気に春のような暖かさになったため、このタイミングで花粉の症状も一気に出始めたと考えられます。暖くなったタイミングでは春一番が吹いたり、さらに関東ではスギ花粉のピーク時に黄砂の飛来や砂塵嵐の発生などがあったことで、さらに症状を悪化させたのかもしれない。

◆今シーズンは“鼻水”“くしゃみ”を訴える人が多く、“目のかゆみ”は緩和した傾向に

今シーズンの花粉症の症状を調べるため、「具体的にどんな症状が出ていますか？」（複数回答可）との質問をしました。その結果、最も多かったのが“鼻水”で25,391人と最も多く、続いて“くしゃみ”が24,986人、“鼻詰まり”が16,164人となりました。昨シーズンは“目のかゆみ”を訴える方が最も多く、大量飛散した年も2位だったものの、今シーズンは14,626人と4位で、緩和している傾向になりました。これは、昨シーズンの調査結果で「目への対策が甘い」という結果になったため、それを踏まえてみ



んなの対策が強化された可能性があります。

さらに、フリーコメントを見ると、「今までは感じなかった目元以外の皮膚のかゆみが気になる。頭皮のかゆみがひどく髪はしばり帽子をかぶり外出してます」「最近、耳までかゆくなりました」「肌のかゆみは以前なかったのに今年はひどいから困ってます！」など、鼻や目、くしゃみなどの症状に加えて、今シーズンは「肌や耳の奥のかゆみ」などの症状を訴えるコメントが目立ちました。

◆今シーズンは“目”への対策を強化？

～花粉症対策、最も人気があるのは“マスク”～

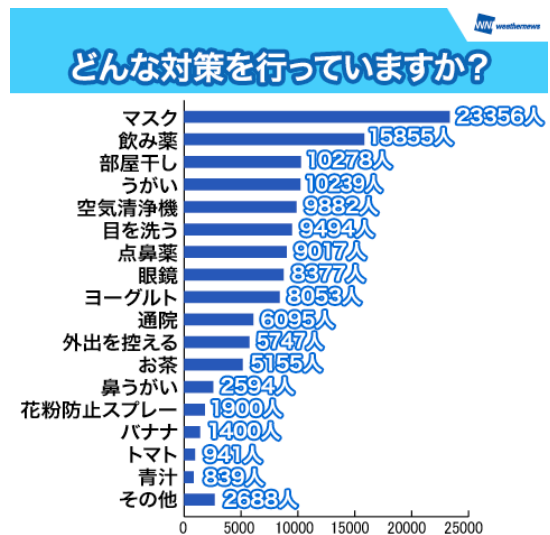
花粉症の方がどのような対策を行っているのかを調査するため、「どんな対策を行っていますか？」（複数回答可）との質問をしました。その結果、“マスク”が昨シーズンに続いて最も多く 23,356 人、次に“飲み薬”が 15,855 人、“部屋干し”が 10,278 人、“うがい”が 10,239 人となりました。

一方、大量飛散した年に一番人気だったものの、昨シーズンに順位を大きく落とした眼鏡の利用率が上がっており、8,377 人が対策に活用していることが分かりました。最近では花粉対策用のメガネの種類が増えており、デザインに気をつかったものも出ているので、メガネの利用者が増えたのかもしれませんが。今シーズン出ている症状で“目のかゆみ”が緩和している傾向からも、目への対策を怠らないことが、花粉症の症状軽減に繋がりそうです。

フリーコメントを見ると、薬に関するコメントが寄せられており、「最近の薬は眠くならないもの、口が渴かないもの、効き目が長続きするものなど、20 年来お付き合いしてる一人としては助かります。」

「目のふちが痒いので、眼科で貰った塗り薬を塗っている」など、薬や新しい花粉症対策の情報、花粉症歴の長い人は、最近の飲み薬の進化に驚く声もありました。

花粉シーズンをより楽に過ごすために、対策方法を自分の症状や生活スタイルに合わせて上手に組み合わせるなど、工夫して実践していくと良さそうです。



参考資料

◆都道府県別症状ランキング

	都道府県	“症状は重い”の割合
1位	神奈川県	53.4%
2位	徳島	51.9%
3位	愛知	51.5%
4位	千葉	50.8%
5位	和歌山	50.6%
6位	愛媛	50.2%
7位	茨城	50.2%
8位	東京	48.4%
9位	埼玉	46.5%
10位	石川	45.5%
11位	香川	45.5%
12位	島根	45.0%
13位	奈良	44.0%
14位	三重	42.0%
15位	栃木	41.8%
16位	群馬	41.1%
17位	大分	40.3%
18位	山口	40.1%
19位	広島	39.2%
20位	鳥取	38.8%
21位	岡山	37.5%
22位	大阪	36.5%
23位	岐阜	35.7%
24位	福岡	35.2%
25位	兵庫	34.3%
26位	福島	33.5%
27位	長崎	33.3%
28位	滋賀	33.2%
29位	高知	32.9%
30位	京都	32.2%
31位	長野	29.9%
32位	静岡	29.4%
33位	熊本	28.0%
34位	山梨	26.6%
35位	佐賀	23.5%
36位	鹿児島	22.8%
37位	宮城	21.3%
38位	富山	21.0%
39位	宮崎	16.2%
40位	青森	15.9%
41位	福井	14.4%
42位	岩手	14.3%
43位	山形	10.9%
44位	新潟	10.7%
45位	秋田	8.5%

◆都道府県別事前対策ランキング

	都道府県	“いつも以上にしっかり”の割合
1位	長崎	35.0%
2位	徳島	32.0%
3位	新潟	31.7%
4位	香川	31.5%
5位	鳥取	31.3%
6位	宇都宮	29.9%
7位	茨城	29.8%
8位	鹿児島	28.7%
9位	熊本	28.5%
10位	三重	27.6%
11位	愛媛	27.6%
12位	宮城	27.4%
13位	佐賀	26.9%
14位	高知	25.9%
15位	岩手	25.9%
16位	大分	25.8%
17位	滋賀	25.6%
18位	福井	25.4%
19位	静岡	25.4%
20位	愛知	24.6%
21位	青森	24.4%
22位	広島	24.0%
23位	埼玉	23.7%
24位	群馬	23.7%
25位	福島	23.7%
26位	山梨	23.6%
27位	岡山	23.2%
28位	奈良	23.2%
29位	島根	22.8%
30位	岐阜	22.3%
31位	山口	22.2%
32位	福岡	22.2%
33位	富山	22.0%
34位	東京	21.8%
35位	京都	21.7%
36位	長野	21.7%
37位	石川	21.6%
38位	千葉	21.5%
39位	宮崎	21.1%
40位	兵庫	20.9%
41位	神奈川県	20.4%
42位	大阪	20.4%
43位	山形	19.5%
44位	和歌山	19.4%
45位	秋田	11.8%

※ここ数年と比べて症状が重い人の割合、事前対策にいつも以上に力を入れた割合を都道府県別にランキングで表示
 ※北海道は花粉シーズンインしていないため、また沖縄県は目立った花粉がないため、調査から除いています。